

## 平成21年度 第3回市民活動サポートセンター運営委員会 会議概要

平成21年11月19日(木) 18:30~20:30

横須賀市立市民活動サポートセンター

出席委員 7名…小野、河村、木曾、鷹野、前川、増田、渡辺  
事務局 2名…市民生活課 三富、堀井  
指定管理者 2名…NPO法人YMCAコミュニティサポート 田邊、大島(理)  
傍聴者 0名

### 1 報告事項

- ・次第に沿って報告を行った。
- ・12月から展示コーナーでのチャリティ活動を認める。

### 2 審議事項

## [意見概要]

### 1-(2) 利用状況・利用者の声について

(指定管理者)

利用者からの要望を受け、展示コーナーでのチャリティ活動を12月の申請から認めることとした。

(市民生活課)

追浜市民活動サポートセンターに、用紙を購入するために販売店とタイアップしてほしいという意見が寄せられたが、現状は難しいと回答した。

追浜市民活動サポートセンターは施設の入っているビルのテナントが撤退したため利用者が減るかと思っていたが例年並で、逆に久里浜が前年度と比較すると利用者数減少している。

(委員)

スタッフがいないのであれば、近くで文具を購入できる場所の案内などを掲示してはどうか。

(委員)

久里浜市民活動サポートセンターの利用者が減った理由として、久里浜地区に新しいショッピングセンターができて人の流れが変わったことが考えられる。

(指定管理者)

ショッピングセンターのオープニングで企業から市民活動団体の紹介を依頼された。その後は特に接点がないが、黄色いレシートキャンペーンなど地域貢献活動も活発に行っている企業なので、うまく繋ぐことができないか考えたい。

### 1-(3) 設立10周年記念フォーラム報告

(指定管理者)

利用者一人一人に地道に声掛けをしていった結果、当日は191名の参加があった。

二部のワークショップでは、それぞれの団体における課題と、サポセンに対する要望をグループごとに話し合い、発表した。団体の課題としては、会員の減少や後継者不足、収入、他団体との交流などがあげられた。また、サポセンへの要望として、機器の充実やサポセンの活性化(PR含む)、交流機会を増やしてほしいなどの意見があった。設立10年を迎える市民活動の拠点施設として、指定管理者としては利用団体の皆さんに単なるお客さんではなく、共に施設を担っていく意識を持ってほしいと考えているが、要望が中心だったのが残念。

(委員)

活動自体ができる施設であれば一般に周知される機会もあるだろうが、サポセンは使用目的が市民活

動の準備に限定されているから、市民活動をやっていない人に知られる機会が少ない。関心がある事をやっていたら知られる機会も増えるので、空いているスペースを何か有効に使えないか。

(委員)

まずは活動している人や団体を支援するという目的を徹底させて利用者の増加を図るのが先である。それでも利用者が少ないようであれば、市民活動をやっていない人に対するPRを始めてはどうか。

(指定管理者)

サポートセンターの中にいると分からない面もある。具体的に何をしていくべきか考えたり、話し合いをしたりする機会を取り入れていきたい。

### **1-(4) のたろんフェア2010の進捗について**

(指定管理者)

9月に実行委員会を立ち上げ、参加団体も一緒になって作り上げるフェアを目指している。5日までに74団体の申込みがあり(前回72団体)、抽選を行った。パネル展示とフリーマーケットは定数に達したが、ステージ発表はまだ定数に至っていない。(22日申込締切)

また、何かやり隊ヤングマンが高校生や大学生を対象に政治に対する関心アンケートを行い、結果を市長へ報告した。市長からも意見をいただき、非常に刺激を受けたようだ。アンケート結果や経過などはのたろんフェアでも発表する。

### **2-(1) 市民公益活動団体について**

(委員)

4番は有料の語学教室ではないか。

(指定管理者)

提出資料から無料講座と判断した。

(事務局)

社会教育系の団体は登録時と、活動をしている段階とで変質していく可能性が高い。

(委員)

特定地域の支援をする団体は公益性があるといえるのか。

(指定管理者)

個人的な考えではあるが、貧困に対する支援は特定の地域を支援することから始めないと底上げが難しい。

### **3-(1) 意見交換会について**

(市民生活課)

今後はアンケートで出たサポセンの課題について話し合っていきたい。12月は15日(火)に開催する。

### **その他(委員長の改選について)**

(市民生活課)

来年度は委員長の改選時期にあたるため、次回の運営委員会の前に各委員へ推薦書を送付するので、ご承知おきいただきたい。

## **その他（休館日の設定について、ほか）**

**（委員）**

以前から日曜夜の利用率が少ないので、試験的に閉館時間を早めるか、休館を検討してはどうか。利用者がいないのに明かりがついているのは効率的ではないし、環境にも悪い。

**（指定管理者）**

休館日が年末年始しかないため、スタッフの健康維持やスタッフ全員が集まったの打合せや研修時間をどのように確保するかが課題だった。明かりを消してしまうとやっているかどうか分からなくなってしまうので、開館している以上必要な照明は点灯せざるを得ない。

**（委員）**

休館（または開館時間の短縮）自体は賛成だが、休館日や閉館する予定の時間帯に利用している団体に意向を確認してほしい。

**（委員）**

使っていないスペースの使い道についても、運営委員会で継続して検討していきたい。

**（委員）**

サポセンを支えてくれている人たち（ヤングマン、サポさぼ、4 Sクラブなど）の悩みや活動の課題などを知りたい。

**（指定管理者）**

事務局としては意見を聞いているが、次回から運営委員会などでも提示していきたい。

以上